

2010.11月

品質月報

Monthly Quality Report

発行部署 : サンシン電気(株)・品質保証部

11月号 INDEX

11月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

今月のテーマは…
「もしドラ」が「2010流行語大賞」にノミネート

PAGE 5 ……今月の品質状況

10月は市場不良3件

PAGE 6 ……今月の品質状況

市場不良率推移

PAGE 7 ……品質状況詳細

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 8 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)

PAGE 9 ……活動報告

安全規格取得状況報告
球状トランス搭載電源の申請
中国CCC認証取得準備



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果と品質マネジメントシステムの効率的な運用により、お客様のニーズを満たす製品開発と安定的な製品供給をおこない、電機業界および社会へ貢献して参ります。

1. 事業活動において、いかなる場合も品質マネジメントシステムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遂行を通し品質の向上につとめて参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた品質マネジメントシステムの継続的な改善につとめて参ります。
4. 品質マネジメントシステムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

平成18年7月1日
サンシングループ
代表 石井宏宗



石井宏宗

今月のトピックス

『もしドラ』が「2010流行語大賞」にノミネート



経営学と高校野球を組み合わせた
ベストセラービジネス小説

『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』(もしドラ)の発行部数が、昨年12月の発売から10ヶ月で実売100万部を突破しており、今年を代表するヒット書籍となっている。

『もしドラ』という単語が「現代用語の基礎知識選 2010ユーキャン新語・流行語大賞」の候補語としてノミネートされました。

同書は、都立高校の弱小野球部のマネージャーとなった川島みなみが、経営書『マネジメント』を手に、企業経営や組織論のエッセンスを高校野球に応用して、悩みを抱える監督や野球部員たちと共に甲子園を目指すというストーリー。

経営書『マネジメント』から、組織や企業のあり方、マネジメントの仕事、役割、使命など組織運営の全般、人材活用やマーケティングなどを学び、野球部で実践しながら、みなみは野球にかかわるほぼすべての人を「顧客」と見立て、感動を与えることを目指し、選手、監督との対話や部員の目標管理、役割分担といった「マネジメント」を通して、チームを活性化させていく。

顧客に役務を提供するのがビジネス

この内容を品質保証の組織に当てはめて考えると、

「顧客 = エンドユーザー」
「役務 = 品質の良いもの」
「ビジネス = 信頼を得る」

と読み替えることも可能だと思います。

うまく行かない結果について、ついつい他人の責任にしがちな毎日ですが、自らの責任として捉え、結果を出してお客様の信頼を得られるようにしたいと思います。

この本の表紙が少し恥ずかしいのですが、「もう一度読んでみようかな～」と思っています。



(品証)

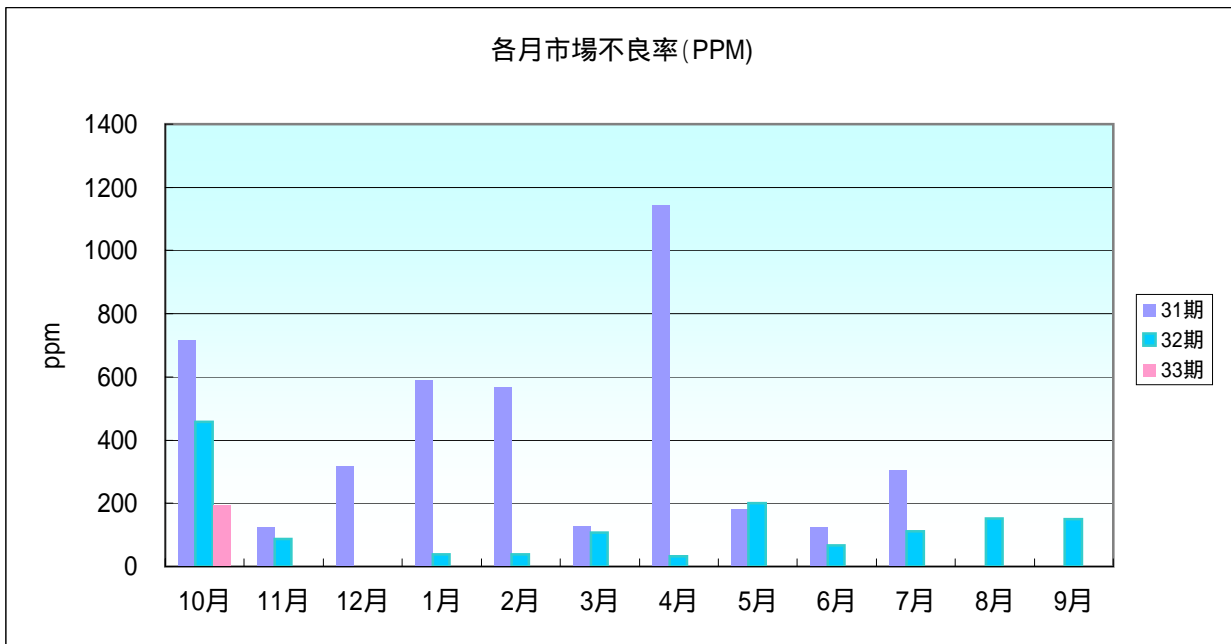
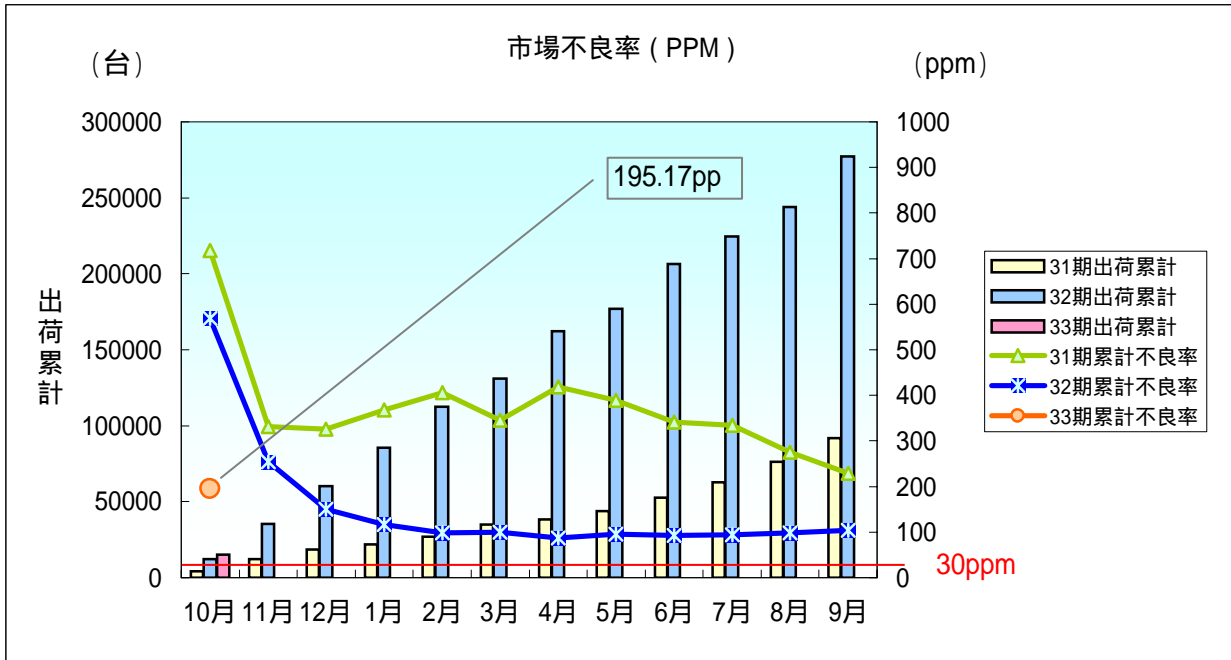
今月の品質状況

33期の旗印

納入不良率 目標……30ppm

33期は30ppm以下を目標にしております。
現時点での累計不良率は**195.17ppm**となっております。

過去の不良率に比べると減少傾向にはありますが、目標値である30ppmに対しては大幅にオーバー。今期も悪いところからのスタートになってしまいましたが、具体的なアクションを実施して、少しずつ目標に近づけて行き、最終的に目標達成を実現したいと思います。

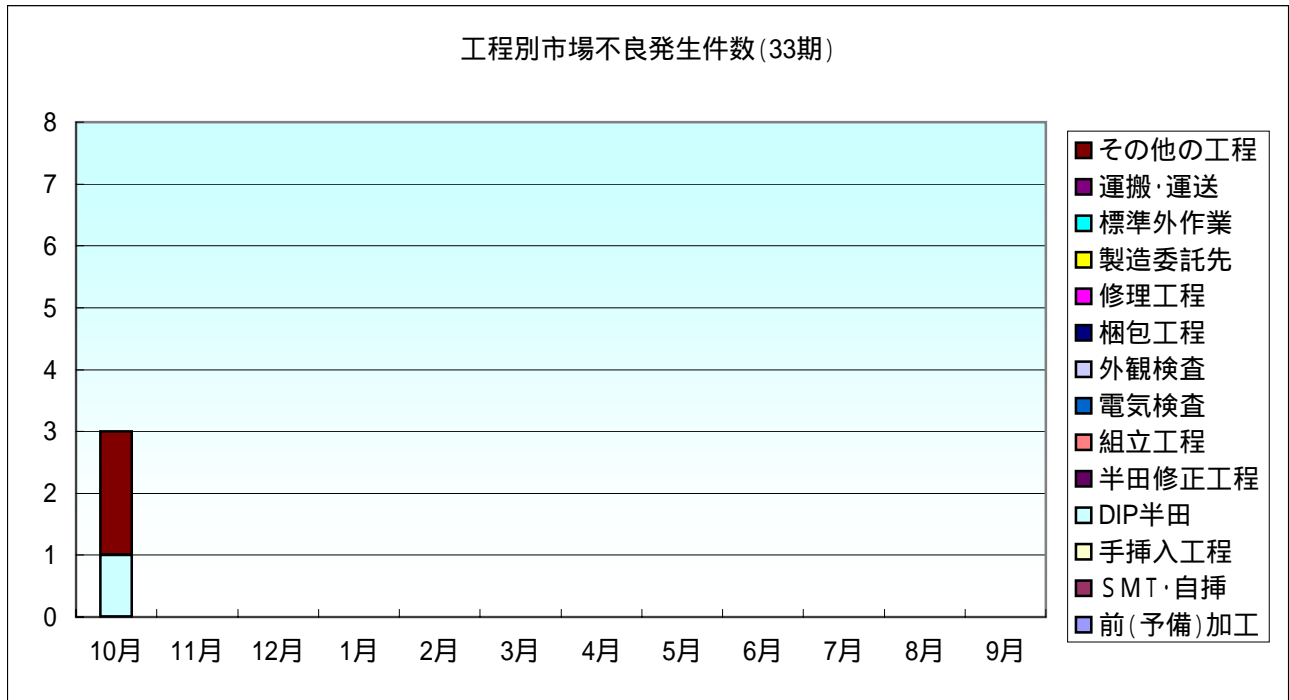


10月の単月不良率は195.17ppmです。
1月単位の不良率で見ると、昨期6月以降序々に不良率が上がってきており、今期に入ってもその傾向が続いています。不良率が上がり続けています。
先ず、この傾向を断ち切る必要があり、このことを全員が認識願います。

品質状況詳細

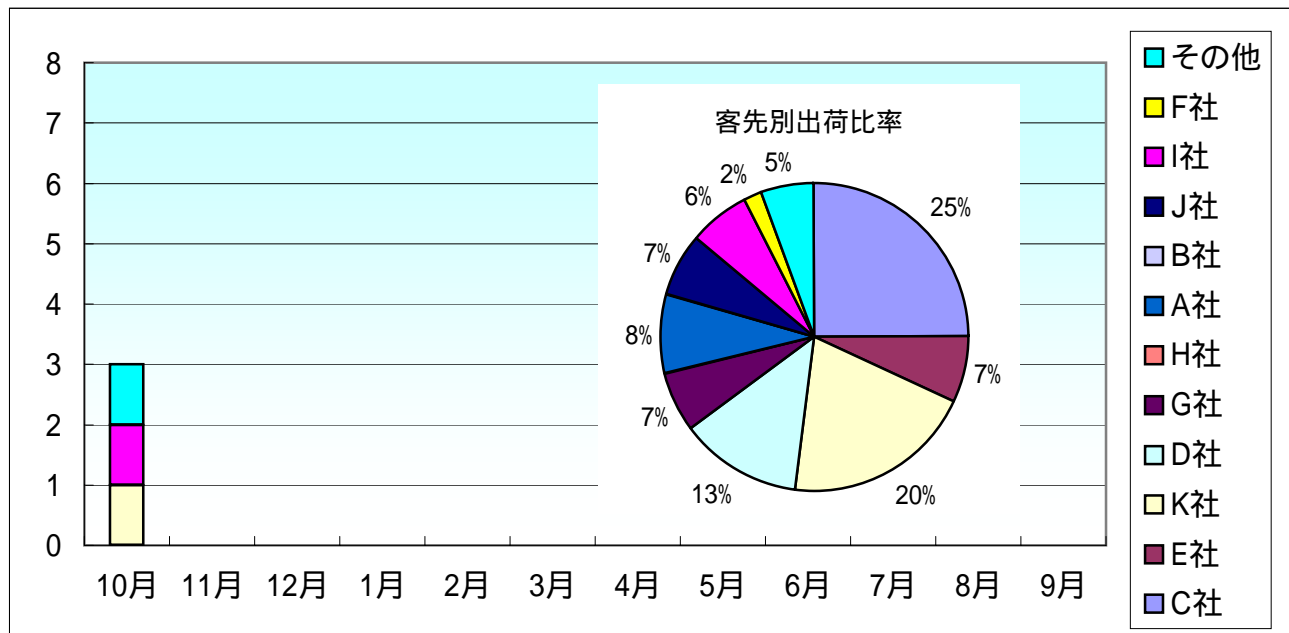
その1) 原因別、並びに工程別市場不良発生状況

工程別不具合



DIPの不具合(クレーム不良)1件は致命不良、その他2件はコーティング関係の不具合。コーティング不具合はこれまでは無かった新しい不具合内容と言えます。今後も増えていく作業内容と思われ、重要ポイントにしたいと思います。

客先別不具合



客先別不良発生率

M社 1件/296台 (3378ppm)
 I社 1件/999台 (1001ppm)
 K社 1件/3080台 (325ppm)

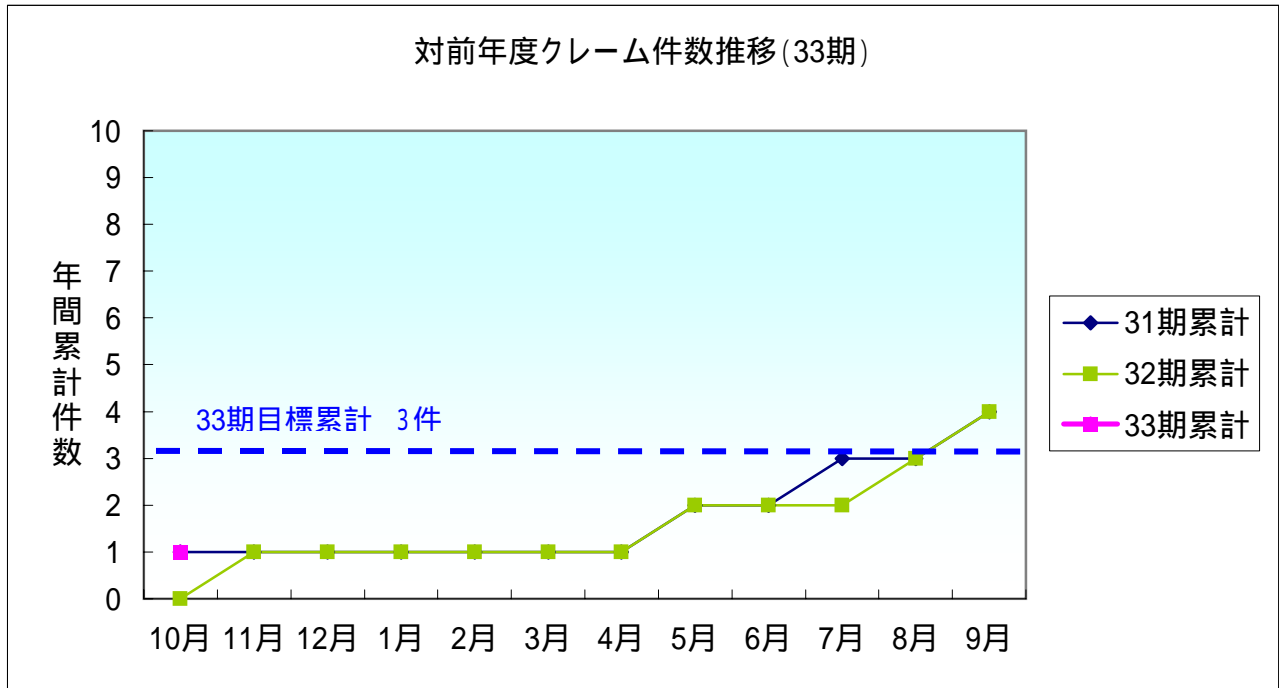
となっております。

品質状況詳細

その1) クレーム発生推移状況

クレーム発生推移

「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合



初月からクレーム不良が1件発生してしまいました。
22期は最終的に目標3件に対して発生4件と目標値をクリアできませんでしたので、今期はなんとかしてもクリアしなければいけません。

客先別クレーム発生状況



クレーム不良1件発生。
DIP不良がクレームとなっております。今後継続生産の予定もあり、設計的にも問題がある機種であることから、品質改善の最重要機種として取り組みを実施していきます。

品質保証部の活動報告紹介

安全規格申請状況

新規安全規格取得状況と中国認証についてご説明します。

球状トランス搭載電源申請中



現在、球状トランス搭載電源の安全規格申請を進めております。

弊社としては、初めての球状トランス搭載電源での申請となり、申請機関の担当者の方々も興味津々といったところです。

このスイッチングトランスを球状トランスに変更することにより、ノイズ削減、トランス周辺部品のランクダウンなどの効果が見込めます。

今回の安全規格申請は、既に安全規格取得済みの電源のスイッチングトランスを球状トランスに変更したもので、取得済みのCBレポートも利用しての申請となります。

申請に際して、トランスのWIREが球状のコアの中に入ってしまったおり、WIREの温度が測定できない為、温度上昇試験用の熱電対を埋め込んだサンプルが必要になってくるということが判明したり、現在、申請機関の方々と模索している最中です。

中国 CCC認証 取得予定

ATX電源(EN、UL規格取得済み)について、中国の安全規格(CCC)を取得する予定があります。こちらも弊社としては初めての申請となり、現在内容調査中です。

取得には工場審査が必要となり、中国から審査員を招聘する必要があり、ビザ申請期間も含め、取得期間は通常6~9ヶ月になります。

工場審査の日数/人数は工場規模にもよりますが、一般的に2日/2人。中国語通訳の手配も要求されます。(審査員に対しては、空港までの送迎、休日の観光、買物、食事の世話等のアテンド作業も必要になります。)

その他、申請に必要な書類として膨大な資料が必要となり、それらの書類は基本的に中国語or英語での提出となります。

